

和歌山縣報

第千九十二號

明治四十四年七月二十四日

○告示

○和歌山縣告示第二百五十一號

左記ノ種牡牛ハ其ノ使用ヲ廢止シタリ

明治四十四年七月二十四日

和歌山縣知事 川上親晴

種牡牛使用
廢止年月日

種 類 年 齡 毛 色 高 さ 所 有 者 住 所 氏 名

明治四十四年
七月十七日

エアシャー種

明治四十二年
五月 生

白褐斑 四尺三寸

海草郡園崎村大字井邊

井邊清五郎

○和歌山縣告示第二百五十二號

和歌山市板屋町二十四番地

開業産婆

榎本 正

右ノ者今般轉任ノ旨ヲ以テ訂正願出ニ依リ左ノ通本日和歌山縣産婆名簿ヲ訂正ス

明治四十四年七月二十四日

和歌山縣知事 川上親晴

伊都郡高野口町大字名倉八百二十番地

○和歌山縣告示第二百五十三號

榎本 正

日高郡稻原村大字明神川參百九番地

開業産婆

松尾 タケ

右ノ者今般婚姻ノ旨ヲ以テ訂正願出ニ依リ左ノ通本日

明治四十四年七月二十四日

和歌山縣知事

川上 親晴

日高郡稻原村大字明神川四百十一番地

東 タケ

○和歌山縣告示第二百五十四號

海草郡大野村役場位置ハ今般全村大字大野中五百八十八番地ニ變更セリ

明治四十四年七月二十四日

和歌山縣知事

川上 親晴

○辭令

○明治四十四年七月十九日

技師 高井二郎

警視 武田巖作

屬 月澤増男

(各通)

有田郡書記	伊都郡書記	伊都郡書記	伊都郡書記	伊都郡書記	那賀郡技手	那賀郡技手	那賀郡書記	海草郡技手	海草郡書記	海草郡書記	警部補	警部補	警部	警部	警部	警部	警部	警部	津田盛太郎
平木秀雄	宮本侃一	森川勝三郎	木村彌三郎	清水龜藏	金谷仲次	林兵三郎	早草恂次	松村象治	前島正雄	岩橋大八	山田稔	木村實	三宅清次郎	竹田貞之丞	上岡留吉	表野龜太郎	久保田廣助		

病虫害驅除豫防督勵員ヲ命ス

○明治四十四年七月二十一日

群馬縣へ出向ヲ命ス

○明治四十四年七月二十二日

(各通)

東牟婁郡新宮町立高等女學校教諭

明治四十四年和歌山縣師範學校水泳教師ヲ嘱託ス

有田郡書記

岩崎源之助

有田郡技手

桂楠壽

有田郡技手

川口爲吉

有田郡技手

堀覺三郎

日高郡書記

三田佳一郎

日高郡書記

石橋久太郎

日高郡書記

岡本利三郎

西牟婁郡書記

松尾隣三

西牟婁郡書記

谷輪重太郎

東牟婁郡書記

池本徳太郎

東牟婁郡書記

脇川清

東牟婁郡技手

坪野吉之助

中川てゐる

深海菊松
小林東一郎

手當金六圓ヲ給ス

明治四十四年和歌山縣師範學校水泳教師ヲ囑託ス

竹谷直彌

手當金八圓ヲ給ス

明治四十四年和歌山縣立粉河中學校水泳教師ヲ囑託ス

湯川清太郎

手當金貳拾圓ヲ給ス

○町村吏員ノ異動

○明治四十四年七月二十一日認可

那賀郡丸瀬村長 道本棟太郎

○彙報

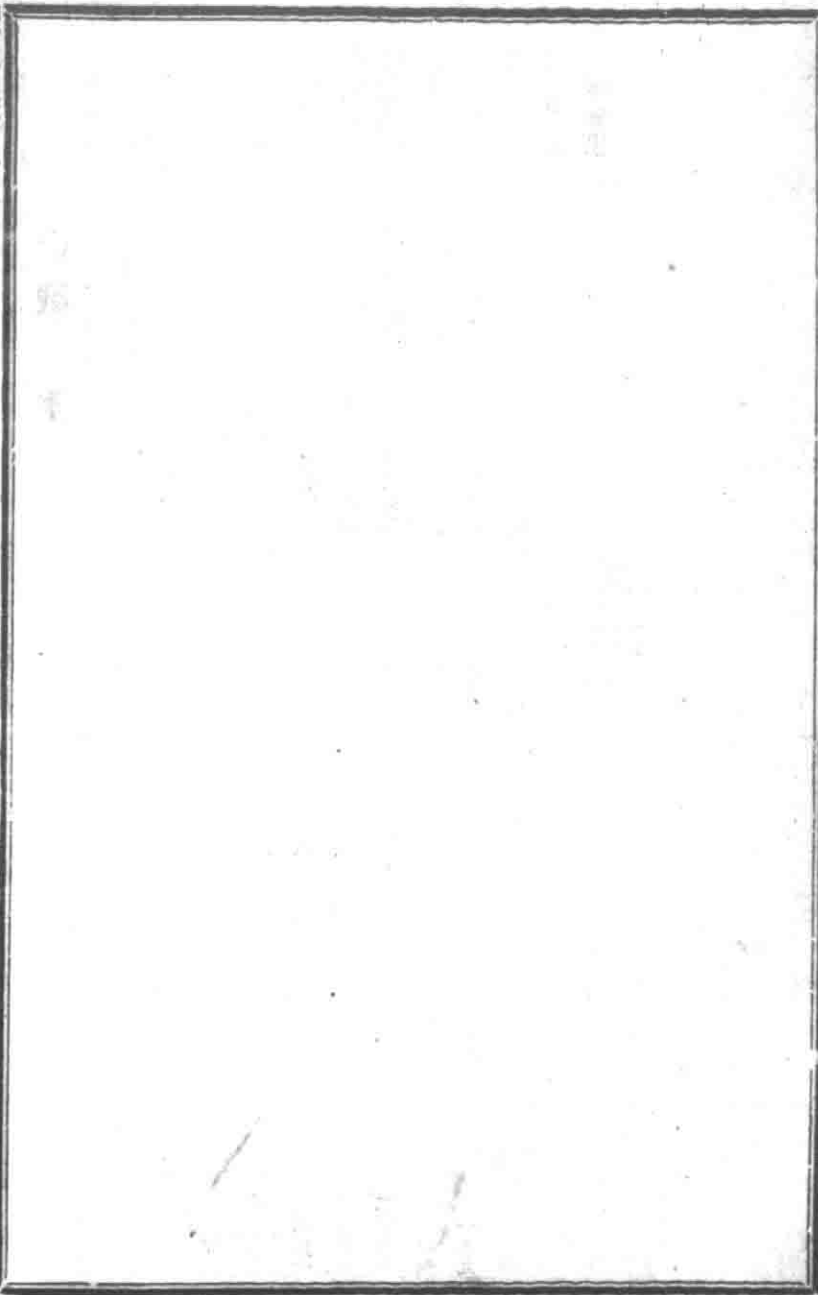
○陸叙 技師從七位川村六郎ハ本月二十日高等官六等ニ叙セラレタリ

○觀象

自七月十九日至七月廿一日氣象

(和歌山測候所觀測)

種目	七月十九日		七月二十日		七月廿一日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七五八綫二	七五八綫五	七五八綫二	七五六綫九	七五九綫〇	七五三綫九
平均氣溫	二七度七	二七度〇	二八度五	二八度三	二八度七	二八度七
最高氣溫	三四度三	三三度七	三三度一	三四度三	三三度四	三四度三
最低氣溫	二四度〇	二二度三	二四度六	二二度九	二五度九	二三度八
最多風向	南西	西	南々西	西	西	北西
平均風力	二米一	四米一	四米八	一米三	一米六	一米九
天氣	晴	晴	晴	晴	晴	晴
降水量						
記事雜象			正午日暈ヲ映ス午後十一時三十六分〇入抄微風		夜間月環ヲ映ス	



明治四十四年七月二十三日印刷
明治四十四年七月二十四日發行
(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日發行)

和歌山縣知事官房

和歌山市北休賀町六番地
印刷所 和歌山市北休賀町六番地
宗

活版部